

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	1	基本事務事業名	適応指導事業	事務事業名	適応指導事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月20日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岡田 倫子			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年
	主要施策		(4) 悩みや不安の解消、心の問題への対応			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内の学校に登校しにくい児童生徒									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	学校に登校しにくい児童生徒たちに、情緒の安定、基本的生活習慣の改善、集団生活への適応、基礎学力の補充等の相談や指導を行い、学校への復帰や社会的に自立する力を養います。								
			今年度	学校に登校しにくい児童生徒たちに、情緒の安定、基本的生活習慣の改善、集団生活への適応、基礎学力の補充等の相談や指導を行い、社会的に自立する力を養います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 教科学習: 利用者個々の学習状況を基に個別指導計画を立て、基礎学力補充等の学習指導を行います。												
	② 体験活動: 農作業、職業体験、自然体験、スポーツ活動、調理実習、地域行事への参加等を通じて社会的に自立する力を養います。												
	③ 相談活動: 集団生活、悩み、進路、将来等、個々の課題についての相談を通じて自己形成への支援を行います。												
	④ 訪問活動: 教育支援センターに通級できない問題がある子どもたちを定期的に家庭訪問して、保護者を交えた聞き取り状況調査による適応指導を行います。												
⑤ 関係機関との連携: 不登校対策協議会、担任教諭、民生委員児童委員等の関係機関との連携を密にして、支援を行います。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		最終目標	
	スクールカウンセラー活動時間		活動時間		時間	目標	88		88		120		
						実績	164		174				
	不登校対策協議会回数		協議会回数		回数	目標	2		2		2		
						実績	1		1				
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10 教育費		項	1 教育総務費		目	2 事務局費
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考				
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円					
		県支出金			千円			千円					
		地方債			千円			千円					
		その他特定財源			千円			千円					
		一般財源	1,271 千円		1,227 千円		1,487 千円						
	計(A)	1,271 千円		1,227 千円		1,487 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1,000 人	6,060 千円		1,000 人	5,953 千円		1,000 人	6,157 千円			
		会計年度任用職員職種	教育支援センター(適応指導教室)指導員			教育支援センター(適応指導教室)指導員			教育支援センター(適応指導教室)指導員				
会計年度任用職員工数・経費		2,000 人	3,909 千円		2,000 人	4,785 千円		2,000 人	5,490 千円				
全体事業費(A+B)		11,239 千円		11,965 千円		13,134 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価							
		1.	2.	3.	4.	総合評価	○ 少ない	● 大きい	児童生徒の社会性を育むため、重要な役割を担っています。	○ 少ない	● 大きい								
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	学校に通いにくい子どもたちの安心感が感じられる居場所として、様々な活動が実施されています。また、在籍校と連携し、子どもたちの意識や状態に応じた効果的な支援を行うためにも有効な事業です。	○ いえない ● いえる	○ いえない ● いえる	○ 少ない ● 大きい	○ ない ● ある	○ ある ● ない	○ いる ● いない	○ いない ● いえる	○ いえない ● いえる						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある ● ない	○ いる ● いない										○ ない ● ある	○ ある ● ない	○ いる ● いない	○ いない ● いえる	○ いえない ● いえる	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ する ● しない	○ できる ● できない										○ する ● しない	○ できる ● できない	○ する ● しない	○ できる ● できない	○ する ● しない	○ できる ● できない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ できない ● できる	○ できない ● できる										○ できない ● できる	○ できない ● できる	○ できない ● できる	○ できない ● できる	○ できない ● できる	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ 目標に比べて劣っている	悩みや不安を抱える子どもたちが、安心して通える居場所を提供し、児童生徒の社会的な自立に向けた力を育んでいます。	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ あまり上がっていない											○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない	○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ 概ね達成している											○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 概ね達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している	○ 十分達成している
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	● 十分達成している											● 十分達成している	● 十分達成している	● 十分達成している	● 十分達成している	● 十分達成している	● 十分達成している
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い ● 適当	学校に通いにくい子どもたちに対して、教科学習のみならず、様々な体験活動や相談活動等を通じて自分自身への理解と自信を深めることにより、社会的な自立を支援しています。また、連絡協議会において他教室の成果などを共有し、取組みに生かします。	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当	○ 高い ● 適当						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる ● できない											○ できる ● できない	○ できる ● できない	○ できる ● できない	○ できる ● できない	○ できる ● できない	○ できる ● できない
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある ● ない											○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ ある ● ない											○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない	○ ある ● ない
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4	○ 4						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価												
	必要性	4	4	4	4	A	必要性	4	4	4	4	A							
	有効性	4	4	4	4	A	有効性	4	4	4	4	A							
	達成度	4	4	4	4	A	達成度	4	4	4	4	A							
	効率性	4	4	4	4	A	効率性	4	4	4	4	A							
今後の方向性	○ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等										
当面の課題	子どもたちの個別状態を把握し、教育支援センターに通うことが出来るよう、引き続き学校や家庭と連携した支援の環境づくりが必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点													
改革案と実行計画	在籍校やスクールカウンセラー、関係機関と連携して緊密な情報交換を行い、家庭に対する支援やはたらきかけのタイミングをはかる等、支援体制の充実を図ります。					在籍校と十分に連携するとともに、子どもたちの意識や状態に合わせた効果的な方法を探り、個々に応じた支援を行えるように努めます。													
委員会指摘事項																			

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	基本事務事業名	外国青年招致事業	事務事業名	外国青年招致事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月5日			
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	猪尾 俊輔			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託				<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(7)国際化への対応			<input type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(1)国際感覚豊かな人材の育成			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内すべての小学生・中学生及び地域住民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	外国人講師による生きた英語に触れることで英語を身近なものとして慣れ親しみ、コミュニケーション能力を養い英語力の向上を目指します。									
			今年度	外国人講師による生きた英語に触れることで英語を身近なものとして慣れ親しみ、コミュニケーション能力を養い英語力の向上を目指します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 中学校の英語授業の補助、英語教材の作成等、英語教育の支援を行います。												
	② 小学校の英語活動や英語教育を推進して、国際理解教育の充実に取り組みます。												
	③ 地域住民を対象とした英会話教室を開催し、英語に対する理解を深めることにより、地域住民とのコミュニケーションを図ります。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	配置校	市内4中学校に配置しています。		校	目標	4	4	4	4				
					実績	4	4						
	幼稚園英語活動回数	幼稚園で、英語指導講師、ALTが英語活動を行います。		回数	目標								
					実績								
					目標								
				実績									
DO	予算費目	会 計	款		項		目		備考				
	直接事業費	令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		令和3年度までに、全ての幼稚園が認定こども園に移行したため、幼稚園としての英語活動はなくなりました。					
		国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	1,399 千円		1,398 千円		1,413 千円						
		一般財源	3,798 千円		1,520 千円		3,828 千円						
	計(A)	5,197 千円		2,918 千円		5,241 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円	0.200 人	1,231 千円					
		会計年度任用職員職種	英語指導助手(ALT)		英語指導助手(ALT)		英語指導助手(ALT)						
会計年度任用職員工数・経費		4.000 人	16,848 千円	4.000 人	14,280 千円	4.000 人	22,908 千円						
全体事業費(A+B)		23,257 千円		18,389 千円		29,380 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	子どもたちが、英語を身近なものにとらえ、コミュニケーション能力の向上を図り、国際理解の態度や感覚を養います。また、より多くの市民が英語教室に参加できるような工夫が必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	小学校の英語が教科となり、英語に対する意欲を深め、英語力の向上を目的とした貢献度は高いものがあります。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	子どもたちにとっては、生きた英語に触れる楽しさを体験できることで、外国の文化や言葉に対する興味や関心を高めることができます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input checked="" type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 適当	費用面では厳しいものがあります。民間事業者への委託を見据えたコスト面の見直しも必要と思われれます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	講師個々の能力や適応性等に個人差があるので日本での生活のサポート等の対応に苦慮することがあります。またコスト面を考慮検討していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	慣れない日本生活のため1年で帰国するケースもあるので、生活に対する不安を解消し、より充実した活動を支援していきます。継続して、経費について精査、検証を行います。					事業効果について十分検証を行い、より多くの市民が生きた英語に触れる機会の増加に努めます。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	3	基本事務事業名	中学校教育振興各種補助事業	事務事業名	中学校教育振興各種補助事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月16日			
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	森川 浩太				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3) 地域とともにある学校づくり				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内全ての中学生											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	中学校教育が円滑で継続的に実施されるよう、必要な財政上の支援を講じて教育の振興を図ります。											
			今年度	中学校教育が円滑で継続的に実施されるよう、必要な財政上の支援を講じて教育の振興を図ります。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 新入学生徒に必要なヘルメット購入の補助を行います。														
	② 生徒派遣に必要な補助を行います。														
	③ 進路指導に必要な補助を行います。														
	④ 修学旅行・宿泊学習に必要な補助を行います。														
	⑤ 遠距離通学の生徒に必要な補助を行います。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	補助項目		教育行政の責務なので目的設定になじまない。		数	目標									
						実績	6	6							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考					
	直接事業費			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算							
		国庫支出金		千円		千円		千円							
		県支出金		千円		千円		千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		9,891 千円		9,790 千円		10,055 千円							
	計(A)		9,891 千円		9,790 千円		10,055 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円	0.200 人	1,231 千円						
		会計年度任用職員職種													
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		11,103 千円		10,981 千円		11,286 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	生徒たちの教育水準の維持向上を図るためには必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	生徒たちの教育水準の維持向上を図るためには必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	中学校教育の振興が図られています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	高い	生徒のさらなる豊かな心の育成、健やかな体の育成につながります。	<input type="radio"/>	高い		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できる		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ある		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ある		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	中学校教育の振興を図るためには、財政上の支援は必要ですが、補助内容の精査は必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	補助事業の実績や近隣自治体の交付状況等を参考として、事業効果を確認し継続します。					事業効果について検証しつつ、補助内容を精査し、中学校教育の振興が図れるよう努めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	4	基本事務事業名	小学校英語活動事業	事務事業名	小学校英語活動事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月6日			
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	猪尾 俊輔			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画			事業の開始・終了				
		基本計画(施策)			(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当			令和	年	～	令和	年
	主要施策		(2) 「生き抜く力」と「郷土愛」の育成を重視した教育内容の充実			<input type="radio"/> 2 非該当			根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内のすべての小学生											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	外国語を通じて言葉や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。										
			今年度	外国語を通じて言葉や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① すべての小学校の全学年で、日本人英語講師と担任教師の指導による年間35時間の英語活動を行います。														
	② 月に1時間、担任教師が、外国語指導助手(ALT)や日本人英語講師との英語活動を行います。														
	③ 小・中連携協議会を定期的に開催し、より良い英語活動の実践について研究します。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	英語指導講師配置校		全小学校に配置		数	目標	10	10	10	10					
						実績	10	10							
	年間時間数		より多くの時間英語に親しむ必要があります。		学習時間	目標	35	35	35	10					
						実績	35	35							
						目標									
					実績										
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考				
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算								
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円							
		県支出金		千円		千円		千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		183 千円		149 千円		815 千円							
		計(A)		183 千円		149 千円		815 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.007 人	42 千円	0.007 人	42 千円	0.007 人	43 千円						
		会計年度任用職員職種		英語指導講師		英語指導講師		英語指導講師							
会計年度任用職員工数・経費		5.000 人	11,667 千円	5.000 人	13,911 千円	5.000 人	15,306 千円								
全体事業費(A+B)		11,892 千円		14,102 千円		16,164 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	国際化が進行する現在、将来的に国際社会で活躍できる人材を育成するためには、できるだけ早い段階から外国の言葉や文化に触れ親しむことは極めて重要であり必要なことです。小学校高学年では、英語の教科化の先行実施をしています。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある			○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない			○ ない	● ある		○ ない	● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ できない	● できる			○ いる	● いない		○ いる	● いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる			○ いえない	● いえる	阿波市では18年度から、いち早く全学年で実施し、子どもたちが楽しみながら、英語に親しみ、英語に対する意欲の向上に大きな成果が見られます。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない			○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる			○ する	● しない		○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している			○ できない	● できる		○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ あまり上がっていない	● 概ね達成している			○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している	英語のゲームや英語の絵本、音楽に触れることで、子どもたちの関心や意欲も高まり、事業の目的が概ね達成できているように思われます。	○ 目標に比べて劣っている	● 十分達成している		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ 概ね達成している	● 十分達成している			○ あまり上がっていない	● 十分達成している		○ あまり上がっていない	● 十分達成している		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 十分達成している	● 十分達成している			○ 概ね達成している	● 十分達成している		○ 概ね達成している	● 十分達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 高い	● 適当			○ 十分達成している	● 十分達成している		○ 十分達成している	● 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ できる	● できない			○ 高い	● 適当	義務教育における教育活動の一環として、実施していることから、効率化の余地は少ないと思われれます。	○ 高い	● 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ ある	● ない			○ できる	● できない		○ できる	● できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない			○ ある	● ない		○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
		小学校英語活動から中学校英語学習への効果的なつながりを検証し、実践していく必要があります。また、教師を対象とした中学校英語へのスムーズな移行の在り方や指導法に関する研修が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	小学校の英語活動、英語教育が中学校の英語教育にスムーズに移行できるよう、小・中連携を強化・推進していきます。					小・中学校の連携を強化し、指導方法についても研究を重ねながら、更なる効果に結びつけます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	5	基本事務事業名	奨学金貸与事業		事務事業名	奨学金貸与事業		公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日			
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岡田 倫子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)			(6) 青少年の健全育成			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策			(1) 健全育成体制の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	阿波市奨学金貸与条例、阿波市奨学金貸与規則				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、短期大学または大学に在学し、経済的な理由のため就学が困難で、かつ所得等の資格要件を満たした方												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	学習意欲のある若者が、経済的な理由で、就学する機会を閉ざされないよう、経済的な負担を軽減し、就学の機会を確保します。											
				今年度	学習意欲のある若者が、経済的な理由で、就学する機会を閉ざされないよう、経済的な負担を軽減し、就学の機会を確保します。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 広報阿波、ACN、阿波市ホームページで制度の周知を行います。															
	② 奨学金貸与事業にかかる各申請の受付、審査委員会の開催、各通知の発送、奨学金貸与等の事務を行います。															
	③ 阿波市奨学金の返還にかかる事務を行い、債権の管理をします。															
	④ 旧阿波町・市場町奨学金の返還にかかる事務を行い、債権の管理をします。															
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標						
	申請者数		申請に基づくものであることから目標設定にはなじまない。		数	目標										
							実績	4	0							
	貸与率		審査委員会で審査します。		%	目標	100	100	100							
							実績	100	0							
						目標										
						実績										
予算費目																
会 計		一般会計			款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	4	奨学金費			
DO			令和 5 年度決算			令和 6 年度決算			令和 7 年度予算			備考				
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円		千円						
		県支出金		千円		千円		千円		千円						
		地方債		千円		千円		千円		千円						
		その他特定財源		千円		千円		千円		千円						
		一般財源	0	千円		0	千円		996	千円						
	計(A)		0	千円		0	千円		996	千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円					
		会計年度任用職員職種														
			人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円					
全体事業費(A+B)			0	千円		0	千円		996	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	阿波市の将来を担う優秀な人材育成のためにも有益な事業であり、行政の果たす役割は大きいものがあります。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	勉学の意欲を有しながら経済的理由により修学が困難な者に対して負担軽減につながり、修学の継続が可能になります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	令和6年度は、継続申請・新規申請共に0件でした。			<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	申請者の経済的負担の軽減を目的としているので、効率化の余地は少ないと思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	1	4	B	4	4	1	4	B		
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	令和5年度に引き続き、令和6年度も継続申請・新規申請がなく、今後の方向性については検討の余地があります。また、未収金の徴収率を向上させるため、今後の取組を検討する必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	広報・ACN・ホームページの活用等により、奨学金制度の更なる周知を促進します。未収金については、返還請求の送付回数を増やす等により、収納の強化を図ります。					事業についての検証・検討を進めるとともに、収納の強化を図ります。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	6	基本事務事業名	奨学金等返還支援事業	事務事業名	奨学金等返還支援事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日			
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岡田 倫子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)				5. 明日への基盤が整った阿波		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)				(5) 定住・移住対策の推進		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和 29 年 ~		令和 年 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策				(2) 定住・移住に関する相談・支援の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		阿波市奨学金等返還支援助成金交付要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市に住民登録し居住する就労者のうち、高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、短期大学又は大学(大学院を含む)及び専修学校の在学中に借り入れた高校・大学等奨学金を、平成29年4月1日以降に返還開始等の要件を満たした方											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	奨学金返還金の一部を助成することにより、人材の確保と定住促進を図ります。										
				今年度	奨学金返還金の一部を助成することにより、人材の確保と定住促進を図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 広報阿波、ACN、阿波市ホームページで制度の周知を図ります。														
	② 奨学金等返還支援事業にかかる各申請の受付、通知の発送、助成金交付等の事務を行います。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	助成件数		助成による定住促進を図ります。		人	目標	49	49	49						
						実績	36	40							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	4	奨学金費
	直接事業費			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考					
		国庫支出金		千円		千円		千円							
		県支出金		千円		千円		千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		2,972 千円		3,146 千円		3,789 千円							
	計(A)		2,972 千円		3,146 千円		3,789 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
		会計年度任用職員職種													
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		2,972 千円		3,146 千円		3,789 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	阿波市の将来を担う優秀な人材の育成と定住促進につなげるためには、事業を中長期的に継続していくことが重要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	奨学金を利用して進学する若者は一定数いることから、U・I・Jターンのきっかけを作り、定住促進を図るため有効な事業であると考えます。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	申請や問い合わせは徐々に増えてきており、今後も申請者の増加が見込まれます。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	申請者の経済的負担の軽減を目的としているので、効率化の余地は少ないと思います。民間企業による返還金の支援制度が創設されています。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない				<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	4	3	A	4	4	4	3	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	問い合わせも多く、事業への関心は伺えますが、事前に件数の見込みを行うことが難しいです。また、費用対効果を考慮しながら、さらなる周知を図っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	現在の広報・ACN・ホームページに加え、SNSを活用した広報を行い、さらなる制度の周知を図ります。					若者の移住・定住促進へとつながるよう、引き続き制度の周知に努めます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	7	基本事務事業名	学力向上推進事業	事務事業名	学力向上推進事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月16日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	森川 浩太			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
	主要施策		(2) 「生き抜く力」と「郷土愛」の育成を重視した教育内容の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市内の小学生及び中学生									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	確かな学力向上に向けた取組の充実を図り、質の高い教育を提供することにより、子育てにやさしいまちづくりに寄与します。								
			今年度	学力向上推進講師を配置し、チームティーチング(TT)や放課後学習を実施することで学力の向上を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 各小学校に1名の学力向上推進講師を派遣します。												
	② 学校教育課に学力向上に関する総合アドバイザーと英語推進コーディネーターを兼ねた学力向上推進コーディネーター等を配置します。												
	③ 派遣校において、チームティーチング(TT)や放課後学習を実施します。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
	放課後学習の時間数		時間/週		時間	目標	1	1	1	1			
						実績	1	1					
	TT授業の時間数		時間/週		時間	目標	22	22	22	22			
						実績	22	22					
						目標							
					実績								
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考		
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算						
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		4,718 千円		6,902 千円		3,692 千円					
		計(A)		4,718 千円		6,902 千円		3,692 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円	0.200 人	1,231 千円				
		会計年度任用職員職種		学力向上推進講師		学力向上推進講師		学力向上推進講師					
会計年度任用職員工数・経費		12.000 人	25,646 千円	12.000 人	31,026 千円	12.000 人	34,792 千円						
全体事業費(A+B)		31,576 千円		39,118 千円		39,715 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	学習習慣が十分身に付いていない児童生徒に、確かな学力、学習習慣を身につけるために必要です。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	チームティーチング(TT)や放課後学習を実施し、児童生徒1人1人の実態に応じた教育の実施を図ります。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	学力向上に向けた着実な取組を行っています。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各小学校に1名ずつ、また支援が必要な中学校にも配置することで効果的な支援を目指します。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	学力向上への取組については、効果的な指導方法、学習方法を実施していくために情報収集、情報交換、研修会等を定期的に行っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	各小学校に1名ずつ、また支援が必要な中学校にも出向き、児童生徒の学力向上に努めます。また、学校教育課にコーディネーターを配置することにより、各講師の連携を図ります。					学力向上推進講師と教員との連携に加え、今後も効果的な指導方法等の研究を重ね、子供たちの学力向上に努めます。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	8	基本事務事業名	通学路合同点検事業		事務事業名	通学路合同点検事業		公的関与	9	シート作成日	令和7年6月2日		
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹			シート作成者名	佐古 流星			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input checked="" type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心・快適な阿波				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(2)交通安全・防犯の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策		(3)防犯意識の高揚と地域安全活動の促進				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		通学路を登下校する児童・生徒												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	安全安心な通学路の確保												
			今年度	安全安心な通学路の確保												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 年に1回、警察、県道・市道管理者、学校、PTA等で危険箇所点検を行います。															
	② 阿波市通学路交通安全プログラムに基づき、PDCAサイクルで実施します。															
	③ 随時、学校の要望に基づき対処します。															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標						
	実施校	小中学校合同点検実施校		学校数	目標		14	14	14	14						
					実績		14	14								
					目標											
					実績											
					目標											
				実績												
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費		
	直接事業費			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算	備考									
		国庫支出金		千円	千円	千円										
		県支出金		千円	千円	千円										
		地方債		千円	千円	千円										
		その他特定財源		千円	千円	千円										
		一般財源		12 千円	6 千円	20 千円										
	計(A)		12 千円	6 千円	20 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.300 人	1,818 千円	0.300 人	1,786 千円	0.300 人	1,847 千円							
		会計年度任用職員職種														
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円									
全体事業費(A+B)		1,830 千円		1,792 千円		1,867 千円										

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	交通面での安全確保に加えて、防犯の観点からも重要性が増しています。		<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	PDCAサイクルに基づき、点検後どのように対処できているか、チェックしながら進めています。		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	通学路が広範囲であり、在校生徒によって、毎年通学路が変更となることと、対策によっては経費を伴うものであることから、行う規模によって達成度が変わります。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない	<input type="radio"/> あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	<input type="radio"/> 概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している	<input checked="" type="radio"/> 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	関係機関と連携して合同点検を行うことにより、効率的に安全安心な通学路の確保に努めています。		<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	通学路の範囲が広く、点検できる箇所数についても限りがあります。また、経費を要する工事等もあり、関係機関と連携を密に図る必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	「阿波市交通安全プログラム」に基づきながら、過年度の未対応箇所が残らないように関係機関と協議します。					児童・生徒が安全で安心して通学できるよう、関係機関と連携しながら速やかに対策を講じます。					
	委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	基本事務事業名	情報教育推進事業	事務事業名	情報教育推進事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月2日				
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岩本 裕樹				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)	3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策	(1) 学校施設の整備			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	児童・生徒											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	児童・生徒が情報活用能力を身につけるため、ICT機器を適切に活用した学習活動の充実を図る。										
			今年度	児童・生徒が情報活用能力を身につけるため、ICT機器を適切に活用した学習活動の充実を図る。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① ICT機器を活用した授業を行い、児童・生徒の学習意欲の向上を図ります。													
	② ICT機器の特性や有用性を授業で活用できる教員の資質向上に努めます。													
	③ ICT支援員や教育研究所研究員を学校に派遣し、授業支援や導入ソフトの操作支援を行い、教職員のICT活用能力の育成を図ります。													
	④ 1人1台端末や学習者用ソフトウェア、校務支援システム等の充実を図ります。													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標						
	1日の学校生活でGIGA端末を利用した児童生徒の割合	GIGA端末の管理コンソールまたはフィルタリングソフトから集計	%	目標				70	90					
				実績										
	ICT機器を活用した時間数	1月あたりのICTを活用した授業の各校時間数の平均	時間	目標	4200	4200			4200					
				実績	5528	5714								
				目標										
			実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	14,109	千円							
		県支出金		千円	千円	92,183	千円							
		地方債		千円	千円		千円							
		その他特定財源		千円	千円	107,900	千円							
		一般財源	10,921	千円	0	千円	2,605	千円						
		計(A)	10,921	千円	0	千円	216,797	千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.300	人	1,818	千円	0.300	人	1,786	千円	0.300	人	1,847	千円
		会計年度任用職員職種	情報通信技術支援員		情報通信技術支援員		情報通信技術支援員							
会計年度任用職員工数・経費		2.000	人	4,274	千円	2.000	人	5,171	千円	2.000	人	5,799	千円	
全体事業費(A+B)			17,013	千円	6,957	千円	224,443	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	情報活用力が言語能力、問題発見能力・解決能力等と同様に学習の基盤となる資質・能力として位置づけられています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	ICT機器を活用することで、学習意欲が向上し、調べ学習や協働学習ができています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	児童生徒1人1台のタブレットを配置し、ICTを活用した授業を行っています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	計画的にICT機器を整備し、効率的な運用を行います。また、導入コストの削減に努めます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	国のGIGAスクール構想第2期により、令和7年度に児童・生徒の1人1台端末及び当該端末で使用するソフトウェアの更新を行う予定であり、より一層、ICTの活用を促進していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	端末及びソフトウェア導入時の教職員への研修の実施、またICT支援員による児童・生徒及び教職員へのサポートなどを随時行い、ICTを十分に活用できる環境整備に努めます。					引き続き、ICT環境の整備に努め、学校間での活用頻度の平準化と更なる活性化を図ります。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	10	基本事務事業名	小中連携・小中一貫教育推進	事務事業名	小中連携・小中一貫教育推進	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岡田 倫子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
			主要施策		(2) 「生き抜く力」と「郷土愛」の育成を重視した教育内容の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		児童・生徒										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	小学校から中学校への接続の円滑化を図ることで、不登校や生徒指導上の諸問題などの中1ギャップを解消します。									
				今年度	小学校から中学校への接続の円滑化を図ることで、不登校や生徒指導上の諸問題などの中1ギャップを解消します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 不登校に関する対策協議会を実施します。													
	② 小・中学校教員の交流研修会を開催します。													
	③ 支援が必要な子どものための引き継ぎをします。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	小・中学校の連携を図る会議数		回数		回	目標	2	2	2	2				
						実績	2	2						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款		項		目			
	直接事業費			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算	備考							
		国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		千円	千円	千円								
	計(A)		0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	606 千円	0.100 人	595 千円	0.100 人	616 千円					
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		606 千円		595 千円		616 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	中1ギャップを解消するため、小・中学校の連携は必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	支援が必要な子どもの引き継ぎや不登校生の情報交換の会議は、有効です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	今後も引き続き情報交換の場を充実させていきます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	教員の研修会などを通じて、問題点などの情報共有は必要です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	学習指導要領をふまえ、中1ギャップの解消という中学校の入り口だけを見ることなく、小・中学校が連携しスムーズに接続していくことが必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	さらなる小・中学校の連携強化のための体制づくりに努めます。					中一ギャップの解消にとどまらず、小・中学校の連携を通じて、どんな子を育てたいのかという目的を共有し、中学校区ごとの学校全体で組織的に取り組みます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	11	基本事務事業名	郷土を愛する心を養う教育推進事業	事務事業名	郷土を愛する心を養う教育推進事業	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月16日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	森川 浩太			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
	主要施策		(2) 「生き抜く力」と「郷土愛」の育成を重視した教育内容の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		小学校3年生の児童										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	子どもたちがふるさと阿波市に誇りを持ち、将来にわたって阿波市に住み、働きたいと思えるよう、郷土を愛する心を養う教育を実施します。										
			今年度	子どもたちがふるさと阿波市に誇りを持ち、将来にわたって阿波市に住み、働きたいと思えるよう、郷土を愛する心を養う教育を実施します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 社会科見学(阿波市内)を実施します。													
	② 社会科見学の事前事後学習を行います。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	郷土を愛する心を養う授業の実施時間数(対象児童:小学3年生)		各学校での時間数		時間	目標	13	13	13	13				
						実績	10							
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考				
	直接事業費			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算						
		国庫支出金		千円		千円		千円						
		県支出金		千円		千円		千円						
		地方債		千円		千円		千円						
		その他特定財源		千円		千円		千円						
		一般財源		1,121 千円		814 千円		723 千円						
	計(A)		1,121 千円		814 千円		723 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	606 千円	0.100 人	595 千円	0.100 人	616 千円					
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		1,727 千円		1,409 千円		1,339 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	○ 少ない	● 大きい	○ 少ない	● 大きい	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	伝統と文化を尊重し、これらを育んできた先人の努力を知り、郷土を愛する心を養うことが求められています。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ できない	● できる		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	郷土を愛し、郷土をつくる人材の育成に有効ですが、事業内容の見直しが必要かと思われます。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ 十分達成している	● 概ね達成している		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	郷土の自然環境や歴史文化、伝統芸能などを見学、体験できる学習を行っています。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ 目標に比べて劣っている								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している		○ あまり上がっていない								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		○ 概ね達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	スクールバス等を活用することでコストの削減を図っています。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ 高い	● 適当						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ できる	● できない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	● ある	○ ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	3	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
	当面の課題	社会科見学のみではなく、家庭や地域との連携・協働により取り組んでいく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	地域の教育力を積極的に活用することで、郷土学習の充実を図り、家庭や地域との連携を深めていきます。					引き続き、阿波市内の社会科見学を通して、郷土愛を深める学習を行います。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	基本事務事業名	ゲストティーチャーの活用	事務事業名	ゲストティーチャーの活用	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月20日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	森川 浩太		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策) 3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策) (1)学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年
			主要施策 (3)地域とともにある学校づくり				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的		対象(誰を、何を) 市内小学校の児童									
			目的(どうい う状態に したいのか)		最終的 ゲストティーチャーを講師に招き、地域の「ひと・もの・こと」を活用した体験学習や活動学習を行います。							
			今年度		ゲストティーチャーを講師に招き、地域の「ひと・もの・こと」を活用した体験学習や活動学習を行います。							
事業の活動内容		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
		① 本の読み聞かせ、学習支援、郷土の歴史や昔遊びの伝承等、学習活動の支援を行います。										
		② ボランティア保険をかけます。										
		③										
		④										
		⑤										
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)		指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		各小学校がゲストティー チャーを活用した時間数	各クラス1時間/年	時間	目標	1	1	1	1			
					実績	1	1					
					目標							
					実績							
					目標							
					実績							
DO	予算費目		会 計		款		項		目			
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考			
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円				
		県支出金		千円		千円		千円				
		地方債		千円		千円		千円				
		その他特定財源		千円		千円		千円				
		一般財源		123 千円		113 千円		313 千円				
		計(A)		123 千円		113 千円		313 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円			
		会計年度任用職員職種										
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		123 千円		113 千円		313 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	地域人材の活用は、子どもの生きる力や学力向上につながります。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある			○ 少ない	● 大きい			○ 少ない	● 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない			○ ない	● ある	○ ない		● ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない			○ ある	● ない	○ ある		● ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いえない	● いえる			○ いる	● いない	○ いる		● いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる			○ いえない	● いえる	教員にはない経験、専門知識・技能が学習でき、キャリア教育の充実につながります。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ する	● しない			○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ できない	● できる			○ する	● しない		○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる			○ できない	● できる		○ できない	● できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている				今後さらに活用をはかります。	○ 目標に比べて劣っている		○ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ 目標に比べて劣っている							
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している			○ あまり上がっていない							
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			● 概ね達成している							
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当			ゲストティーチャーは、ボランティアで実施しています。	○ 高い	● 適当	○ 高い	● 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない				○ できる	● できない	○ できる	● できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない	○ ある	● ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない				○ ある	● ない	○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等			
	当面の課題	令和6年度のゲストティーチャーの登録者数は59名(令和5年度 67名)と減少しており、学校によって活用頻度にばらつきがあります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	子ども達の学びの充実に加え、教員の働き方改革の観点からも地域人材の活用は必要不可欠なため、更に地域との連携を図り、積極的に地域人材の活用を図るとともに、登録者数の増加に努めます。					地域の人材を有効に活用して、児童・生徒の関心や意欲を高め、子どもたちの「生きる力」や学力の向上に努めます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	13	基本事務事業名	学校運営協議会制度の活用	事務事業名	学校運営協議会制度の活用	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月16日		
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	森川 浩太		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)			(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
			主要施策			(3) 地域とともにある学校づくり			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的		対象(誰を、何を)		阿波市内小・中学校									
			目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して、一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していきます。								
					今年度	学校が、保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して、一体となって子どもたちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していきます。								
事業の活動内容		具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
		① 学校運営に関し、保護者や地域住民等の意向を把握し反映します。												
		② 学校運営に関し、保護者や地域住民等の協力を得ます。												
		③ 学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていきます。												
		④												
		⑤												
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)		指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
		開催回数	各校における学校運営協議会開催回数	回	目標	2	2	2						
					実績	2	2							
					目標									
					実績									
					目標									
					実績									
予算費目		会 計	款		項		目		備考					
		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算								
DO	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	378 千円		372 千円		420 千円							
		計(A)	378 千円		372 千円		420 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円				
	会計年度任用職員職種													
	会計年度任用職員工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円				
全体事業費(A+B)		378 千円		372 千円		420 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	家庭や地域との連携・協働は、子どもたちの豊かな学びのために必要不可欠です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たすことで、地域の連携及び教育力の向上が図れます。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	保護者や地域住民等の意向を把握し、学校運営に反映しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	学校運営の改善及び保護者、地域との連携を図れることから費用対効果は大きいと考えます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	当該制度を有用なものにするためには、参画する地域住民の継続的な確保が必要となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	授業や行事などでも地域住民に広く参画を促すことで、学校、保護者及び地域の連携・協働を図ります。					学校運営協議会へ移行したことにより、さらに地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	14	基本事務事業名	特別支援教育の充実	事務事業名	特別支援教育の充実	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日	
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	山田 繁美	
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)			実施計画			事業の開始・終了					
		基本計画(施策)			<input checked="" type="radio"/> 1 該当			令和	年	～	令和	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
			主要施策			<input type="radio"/> 2 非該当			根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		障がいのある園児・児童・生徒									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	一人ひとりのニーズに合った支援をして、特別支援教育の充実を図ります。									
			今年度	一人ひとりのニーズに合った支援をして、特別支援教育の充実を図ります。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 特別支援教育コーディネーター等の研修会を開催します。												
	② 特別支援連携協議会で関係機関との連携を強化します。												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
	研修会実施回数		研修回数/年		回数	目標	1	1	1	1			
						実績	1						
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計			款			項			目		
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考				
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		千円		千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		千円		千円		千円					
		計(A)		0 千円		0 千円		0 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円	0.200 人	1,231 千円				
		会計年度任用職員職種											
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	0.200 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,212 千円		1,191 千円		1,231 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	すべての認定こども園・小学校・中学校に特別支援教育コーディネーターを指名し、子どもたちを学校全体で支えています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	障がいのある児童・生徒やその保護者への、乳幼児期から学齢期までの切れ目ない相談・支援を行うためには、特別支援コーディネーター等の研修による質の向上が不可欠です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各関係機関と連携を密にしながら、「個別の教育支援計画」に基づき、その子どもに合った支援を行っています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	乳幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの段階で、必要となる相談窓口が分散することなく連携し、必要な支援を十分に受けられるようにします。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	関係機関(教育・福祉・医療・保健等)との連携を強化し、ライフステージを見通した切れ目のない支援が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	家庭と教育と福祉が連携し、子どもに必要な支援情報を共有できるよう努めます。					障がいのある子ども一人ひとりの状態やニーズを把握し、乳幼児期から学校卒業まで、一貫して的確な支援に努めます。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	15	基本事務事業名	教育支援委員会専門調査員の充実	事務事業名	教育支援委員会専門調査員の充実	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日		
	部局名	教育委員会			課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	山田 繁美		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)			(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
			主要施策			(5) 特別支援教育の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		教育支援委員会専門調査員										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	障がいのある児童生徒の就学にかかる教育支援に必要な審議資料作成等ができる専門調査員の養成を図ります。									
			今年度		障がいのある児童生徒の就学にかかる教育支援に必要な審議資料作成等ができる専門調査員の養成を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 教育支援委員会専門調査員研修への参加を促し、養成します。													
	② 研修会を開催し、調査員の資質向上を図ります。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	養成講座受講人数		受講人数		人数	目標	5	5	5	5				
						実績	3	3						
	教育支援員専門調査員数		調査員数		人数	目標	20	20	20	20				
						実績	25	24						
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計				款		項		目			
			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		千円	千円	千円								
		計(A)		0 千円	0 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,030 千円	0.500 人	2,976 千円	0.500 人	3,078 千円						
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)			3,030 千円	2,976 千円	3,078 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	教育支援委員会の審議に必要な資料を作成する上で、専門的知識が求められます。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	適切な就学等を審議する上で、専門調査員の質の向上は重要で研修等で研鑽すべきものです。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	こども園、小・中学校の専門調査員の人数の確保に努めます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各園、小中学校に呼びかけ、専門調査員の人数の確保に努めます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	4	4	3	4	A	4	4	4	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	現在WISC-Ⅲ検査用紙の生産が終了しているため、WISC-Ⅳ検査が実施できる専門調査員を増やす必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	WISC-Ⅳ検査の研修会の参加者を増やし、専門調査員の増員を図ります。					WISC-Ⅳ検査が実施できる専門調査員の研修の実施と増員を図り、教育支援委員会の適切な審議につなげます。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	16	基本事務事業名	安全対策の強化	事務事業名	安全対策の強化	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月13日			
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課	主務課長名	井内 徹		シート作成者名	岡田 倫子				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)			3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)			(1) 学校教育の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
			主要施策			(6) 安全対策の強化			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		児童・生徒										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	防犯教室を開催し、不審者対応や危険箇所の把握など子どもたちの学校や通学路での安全を確保する。									
			今年度		防犯教室を開催し、不審者対応や危険箇所の把握など子どもたちの学校や通学路での安全を確保する。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各小中学校で防犯・防災教室を開始します。													
	② 青少年育成センターや警察と連携して、不審者対応を学習します。													
	③ 安全マップ等で危険箇所を把握して、注意喚起をします。													
	④ 関係機関と連携して、通学路合同点検を実施します。													
	⑤ 防犯意識を高め、地域に発信します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
	各小中学校での防災、防犯教室等の開催回数		開催回数		回	目標	3	3	3					
						実績	3	3						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目		会 計		款		項		目		備考			
			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算							
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円						
		県支出金		千円		千円		千円						
		地方債		千円		千円		千円						
		その他特定財源		千円		千円		千円						
		一般財源		千円		千円		千円						
		計(A)		0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.010 人	61 千円	0.010 人	60 千円	0.010 人	62 千円					
		会計年度任用職員職種												
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		61 千円		60 千円		62 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							○ 少ない	● 大きい				○ 少ない	● 大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					○ 少ない	● 大きい	「登下校防犯プラン」に基づき、子どもたちの安全確保のための対策を進める必要があります。			○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					○ ない	● ある				○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○ いる	● いない				○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○ いえない	● いえる	地域や関係機関との連携を図りながら、地域ぐるみで子どもたちを見守る体制整備は有効です。			○ いえない	● いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○ いえない	● いえる				○ いえない	● いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○ する	● しない				○ する	● しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○ できない	● できる				○ できない	● できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					○ 目標に比べて劣っている	各学校において、防災・防犯教室等を実施し、危険予測や回避能力を身につける学習を行っています。			○ 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					○ あまり上がっていない				○ あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					○ 概ね達成している				○ 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					● 十分達成している				● 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					○ 高い	● 適当	警察、青少年育成センターやスクールガードリーダーと連携を図りながら実施しています。			○ 高い	● 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					○ できる	● できない				○ できる	● できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○ ある	● ない				○ ある	● ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等			
	当面の課題	通学路において、交通安全面だけでなく「1人区間」「見守りの空白地帯」、さらには、「空き家の増加」など防犯面からの課題が増えつつあります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	防災・防犯教育の担い手である教職員の研修を充実させ、子どもたちと保護者や地域の方が一緒に参加できるような防災・防犯教室を実施、地域ぐるみで子どもの安全を見守ります。					研修・講習の充実や対策を促進することにより、児童・生徒の危険回避を図ります。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	—	17	基本事務事業名	スクールガードリーダーの活用	事務事業名	スクールガードリーダーの活用	公的関与	9	シート作成日	令和7年6月2日			
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	佐古 流星				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 学校教育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(6) 安全対策の強化				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		児童・生徒											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携しながら、地域社会で安全を守る体制を整備する。											
			今年度	学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携しながら、地域社会で安全を守る体制を整備する。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① スクールガードリーダーが計画的に見回り活動を行います。														
	②														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	各小学校での活用回数		回数/年		回	目標	2	2	2	2					
						実績	2	2							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
	直接事業費			令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考					
		国庫支出金		24 千円		24 千円		24 千円							
		県支出金		24 千円		24 千円		24 千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		24 千円		24 千円		24 千円							
	計(A)		72 千円		72 千円		72 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	606 千円	0.100 人	595 千円	0.100 人	616 千円						
		会計年度任用職員職種													
		会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		678 千円		667 千円		688 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価				
							少ない	大きい				少ない	大きい			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	地域社会全体で子どもたちの安全を見守る体制づくりが必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	登下校時の巡回により子どもたちを見守ることで、安全確保を図ります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	巡回や子どもたちに声をかけることで、安全の確保や通学路の危険箇所を把握することができます。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している					
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	国、県の補助金(1/3ずつ)を活用しています。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価									
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価					
	今後の方向性	4		4		A		4		4		A				
		○ 拡大・充実		● 現状維持		○ 方法改善		○ 民間委託等		○ 拡大・充実		● 現状維持		○ 方法改善		○ 民間委託等
	当面の課題	○ 縮小		○ 統合/終期設定		○ 廃止/休止		○ 縮小		○ 統合/終期設定		○ 廃止/休止				
		学校や通学路の安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体と連携を図りながら地域ぐるみで子どもの安全を見守る体制整備が必要です。通学路危険箇所合同点検に参加するなど、巡回指導のより効果的な実施を目指します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点									
改革案と実行計画	阿波市青少年育成センターなどの関係機関との連携を強化して、交通安全のみならず、防犯面からも子どもの安全を見守る活動を行います。					登下校の見守りの担い手の確保とともに、見守り活動の質の向上に努めます。										
委員会指摘事項																

阿波市全庁評価シート 令和6年度実施事業対象

PLAN	No.	33	基本事務事業名	食育推進事業		事務事業名	食育推進事業		公的関与	1	シート作成日	令和7年6月6日		
	部局名	教育委員会		課名	学校教育課		主務課長名	井内 徹		シート作成者名	猪尾 俊輔			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2) 食育の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年
			主要施策				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		園児・児童・生徒及び保護者、地域の住民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	子どもたちの食に関する正しい知識と健全な食生活を身につけるため、家庭・地域と連携し、食育を推進します。										
			今年度	子どもたちの食に関する正しい知識と健全な食生活を身につけるため、家庭・地域と連携し、食育を推進します。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各学校において、食育全体計画を作成し、栄養教諭・学校担任が学年に応じた食育授業に取り組みます。													
	② 各園、各学校では、郷土料理を学ぶ授業や、米づくりのなどの農業体験を行います。													
	③ Awa産Our消Myメニューコンクールを実施し、地産地消への関心と実践力を高めます。													
	④ Awaキッズ食育パネル展を実施し、子どもたちの取り組みを広く周知するとともに、全庁的な食育の推進を図ります。													
	⑤ 家庭や地域と連携して、食育を推進します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標					
	食育授業実施学年数	実施学年			目標									
					実績									
	食育に取り組む学校数	実施校			目標									
					実績									
					目標									
				実績										
DO	予算費目	会 計	款				項				目	備考		
			令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 7 年度予算									
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円						
		県支出金		千円		千円		千円						
		地方債		千円		千円		千円						
		その他特定財源		千円		千円		千円						
		一般財源		千円		千円		千円						
		計(A)		0 千円		0 千円		0 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.200 人	1,212 千円	0.200 人	1,191 千円	0.200 人	1,231 千円						
		会計年度任用職員職種												
		会計年度任用職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)			1,212 千円		1,191 千円		1,231 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価							
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	食育は生きる上での基本であって、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることが求められています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	子どもたちが、食育の重要性についての学習や調理実習などの体験学習を通して、自ら学習することが大切です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	栄養教諭と学校担任による学年に応じた食育授業を実施することで、子どもたちの食育の推進につながります。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各学校では、学校食育計画に基づき、推進の向上を図ります。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	子どもたちの食生活に関する実態を知り、今後の食育推進に役立てるとともに、さらに啓発に努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	家庭や地域との連携体制を強化しながら、食育を推進します。					家庭や関係機関と連携しながら、今後も食育推進に努めます。							
委員会指摘事項													